

# 四万十町文化的施設 ストーリーづくりワークショップ

「わたしたちの文化的施設～未来へつなぐ～」

★平成30年10月14日に四万十町役場東庁舎1階で行われた「ストーリーづくりワークショップ」の様です。

四万十町民＜私たち＞や四万十町を訪れる方にとって文化的施設での利用体験をみんなで物語にしました。

- ・平成30年10月14日
- ・四万十町役場本庁東庁舎1階多目的ホール
- ・午後1時30分～午後4時30分

# 愛される文化的施設になるために ストーリーづくりの開始です。

<私たち>に愛される文化的施設・まちとなるために

四万十町民や四万十町を訪れる方<私たち>にとって、  
文化的施設でどんなストーリー・体験が生まれるでしょうか？

これからできる文化的施設と<私たち>、まちが  
どのように関わりあっていけるか自由に想像/創造しよう



前回の街歩きの内容を各グループごとに回って説明者から身を乗り出して聞き取っています。



気になるテーマを選んで→利用者を想像→  
その方の背景を考え→テーマごとの利用体験  
を考えて行こう！

テーマ	こんな場所で あってほしい	こんな機能が ほしい	こんなふうに 活用したい	この施設によって まちがこう変わってほしい
利用者				
背景				
利用体験ストーリー ※スケッチもOK				
その他				



利用者はサラリーマンや主婦や観光客などなど・・・  
みなさん考え中です・・・。



# 各グループで自分の作った物語を発表中！



各グループから3つのストーリーを選定中。  
みなさんストーリー選びに熱が入ってます・・・。



各グループから選ばれた3つのストーリーを  
15分で発表します。





# 「こんな物語が生まれました」①

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうにご利用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	じゆうくの来ている高校生 じゆうくのスタッフ			
背景	子どもたちの居場所をまちの中心部に持てたい。 (そこを起点にいろんなところに出かけるようにしたい)			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	スタッフと生徒の話し合いの途中、 <u>浮かんできた疑問</u> 。 それなら1,2時間 図書館に行って一緒に調べたりしてみたい? そんな話をしている、学校前の中学生が「やってきて、ちよび」 今学校で調べ学習があるから、一緒に行ってみたい。 いつのまにか本を読むのだと思っていた時間が 町営スタッフ・中学生が話した交流して学ぶ時間がある。			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうにご利用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	モノづくりをした.. お父さんと子ども.			
背景	モノづくりを.. 手作りできる場所がない			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	図書館で学んだこと 実際に作ることもできる。 「モノづくり」が.. できる。 + 作品展示などもできる!!			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうにご利用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	町外の人.			
背景	地域の知のある人達が多い。 かんちがい、知のあることが多い。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	地域の人から自分達の地域を知ることが できる。MAP.や24 ストーリーがわかる。 展示、地域を知ることも、施設に設置する。 知見案内などもできる場所			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうにご利用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	1才 男の子			
背景	右肩が痛い 懐きの時代はどんなこと???			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	自由自在な図書館! (17歳までアゲアゲさせ、場所やお金、 人の増減は左右されたりシステムができる。 懐きは今10才。 1才の頃こんな図書館施設を考えた大人の皆さん ありがとう(心)			
その他				

13

# 「こんな物語が生まれました」②

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

2

テーマ	こんな場所で あってほしい	こんな機能が ほしい	こんなふうに 活用したい	この施設によって まちがこう変わってほしい
利用者	窪川地域在住の60代 定年退職し、ボランティア活動に熱中している町内会の人々、町外出身の人々、観光客			
背景	地域を活性化していくために、このような文化的活動が必要。高齢化率約50%にせまる人口構造で、子育て、子どもの居場所に課題をもつこの町の現状をどう改善していくか。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	幅広い年齢層の人が、コミュニティーを交わすから 充実した時間を過ごせるような施設と文化的イベントが行われる。 観光客やインターンとして町内に居住しはじめた町外出身の人々、町の定住を感ずるよう設備をつくらせて、 <u>観光</u> <u>様</u> の交通手段によって利用できるような立地条件と、 <u>歴史</u> や <u>自然</u> を <u>海</u> で <u>楽しむ</u> 用途の文化的景観があることが重要			
その他	閑雑時間、定休日、ボランティア活用 交通機関			

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

2

テーマ	こんな場所で あってほしい	こんな機能が ほしい	こんなふうに 活用したい	この施設によって まちがこう変わってほしい
利用者	スポーツ好きの若者			
背景	中高生が集う場がない。 夜に人が集う場所が少ない。(居酒屋やストックか、土日は閉まっている)			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	スポーツイベントのバリエーションが会場として、子ども大人が一緒に集える場になっているので、友達同士、家族、仕事帰りに仲間と一緒にに行ける。同じ趣味もつ。(スポーツ、カフェ、バー)人が集まるので、交流の場、出会いの場にもなる。夜には個室でさし、騒動感や一体感が味わえるので、日常生活の中で1つの楽しみにもなる。2次会は組の居酒屋やストックに行ける。選手もみんな見れば、楽しめる。 小さい子どもは、ママが楽しめるスペース。			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

2

テーマ	こんな場所で あってほしい	こんな機能が ほしい	こんなふうに 活用したい	この施設によって まちがこう変わってほしい
利用者	観光客 (日本人、外国人) 外国人...			
背景	観光客、観光客の中にいる観光客。若者以外にこんなアスレチック施設は少ないと聞かされた。少し距離遠い、女性移動手段がない。そんな観光客を集める寄る場所が、中にはない。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	文化的施設内に観光客が体験できるスペース(バス)をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>四万十市を体験できる体験</li> <li>松崎堂・おにいちゃん体験</li> <li>四万十町・モリ</li> <li>四万十町・ヒト</li> </ul> 四万十町で思い出さず、Hマゼンカスペース			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用>

2

テーマ	こんな場所で あってほしい	こんな機能が ほしい	こんなふうに 活用したい	この施設によって まちがこう変わってほしい
利用者	2才、4才、7才の子がいるお母さん (30年代)			
背景	主人は仕事で忙しく、子育てのほとんどは母親がしています。休みの日も、ママが遊びに連れて行くのが、満足。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	四万十町に施設ができて、近くに行く行ってみました。小さい子どもが声を出して遊ぶスペース(遊具もたくさんある)があって、楽しかったです。7才の息子は列車に興味があり、たぐいしの列車の模型が飾られている部屋で(中心は飾られている)見ることができると満足できました。部屋は見学的に(アクリルの列車、新幹線、カブト列車、子ども)見てもらうように、ガラス張りになっている部屋は、子どもが自由に見られるように、遊具のそばに、遊具のそばに			
その他				

13

# 「こんな物語が生まれました」③

■ストーリーボード：【第3回】<記入用> 3

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうを活用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	ギタ-好きな若い住居の青年(20歳)			
背景	演奏の場を求めて、駅前で、休日に一人コンサートを開いている。多くの人に聞いて欲しい。技術を高めて将来ギタ-リストになりたい。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	文化的施設には、音楽の演奏室があり、また、そこを利用している音楽サークルが複数ある。年に1回、サークルを中心に、演奏会(文化祭)で発表の機会があり、有名なギタ-リストも招いている。			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用> 3

情報取得お DVD

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうを活用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	80代の祖母と60代の親と暮らす女性(20代) 窪川地区在住			
背景	いつもパートで仕事をしている。最近 祖母が転倒し、入院した。要介助になった。又祖父は心臓が悪く通院するが、お医者さんの説明が本人にはわかりづらく困っている。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	新しい文化施設は、今四万町にある困ったが解決できるような書籍があり、介護の基本動作などについてもDVDで知ることができた。体の要も介護に興味をわき、資格を取ることにした。本によって、医学にまで興味をわきた。資格取得で更に実際の介護技術が身についた。祖母と親と暮らす時間は増えた。			
その他	有資格介護は専門分野の人だけでなく皆が知ることがよい情報であるので、これをわかりやすい本から取り入れてほしい。			

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用> 3

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうを活用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	町の振興計画づくりの担当をまかされた職員(40歳) 農業			
背景	県に連絡しても、国に連絡しても、情報はまちができておかし、インターネットで検索しても、たいした情報もありません。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	文化的施設には、町内の農業振興に関する基礎的情報があるとし、他県の計画書も集められている。また、町内の相談員があり、町内の人々のネットワークも見つけられる。そこから「農業振興計画づくり」が完成した。			
その他				

13

■ストーリーボード：【第3回】<記入用> 3

テーマ	こんな場所であってほしい	こんな機能がほしい	こんなふうを活用したい	この施設によってまちがこう変わってほしい
利用者	40代女性 3人あり			
背景	子供の好奇心を刺激するような楽しい場所が欲しいが、なかなかなく、つい家でTVやゲームばかりになってしまう。			
利用体験ストーリー ※スケッチもOK	文化的施設には、最新の情報技術が利用されている。 ・VR ... 様々な教育コンテンツを楽しめる。 ゲームの仕組みもあって面白いかもしれない。 利用者同士でのVRでのコミュニケーションも体験して、現実感のかわりも促進される。 本をそのアプリ - 図書館で本を探すと、どこにその本があるか、示してくれる。面白い本がすぐに見つけられる。あつた分便利、子供も見つけやすい。			
その他	機会			

13

# 最後にみんな記念撮影



**これからもみなさんにつながるイベントを開催してまいりますので是非ご協力ください！！**